（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら　入間豊岡教室			
○保護者評価実施期間	2026年　1月　18日	～	2026年　2月　8日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	80	（回答者数）	36
○従業者評価実施期間	2026年　1月　18日	～	2026年　2月　8日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	28	（回答者数）	20
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　3月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎があり、長時間預かりが出来る点が入間市を中心としたニーズに応えられている	インクルージョンの推進を中心とした考え方を持っており、保育園や幼稚園、学校に通う事が出来る児童はその利用を中心に考え我々が出来る支援方法を一人一人に合わせてご提案を行っている	今よりも事業所間での連携や関係機関との連携を強固にすることで、インクルージョンの推進をより実行しやすい支援を提供できるようになると考えている
2	職員体制が手厚く児童の成長を見逃さない体制が作れている	それぞれの特性に合わせて職員体制を臨機応変に変えて対応をしている。 児発放デイ合わせた規模別教室な為、そういった変化のある対応が必要な場合であっても対処できる。	職員がスキルアップできるような研修等の機会を増やしていきたい。 より良い労働条件を整えることで職員のモチベーション管理も行えると尚良いと考えている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児発放デイの規模別教室であるが故に職員のスキルが非常に重要となっている。 既存職員は経験も長い職員が多いため今は良いが、新職員に対しても即戦力となれるための育成家庭の構築が課題。	社内全体での処遇の不足があるのかもしれない。 業界を見ても低待遇だとは考えていないが、新職員採用を目指すためには今一度見直す必要がある可能性がある	社内全体で処遇の底上げを実施している最中である。 採用時の処遇についても一定の水準を確保する事を目指しており、その結果を見て総合的に判断を行っていきたい。
2	職員間でのコミュニケーションや児童についての個別的なカンファレンス機会がもっとあっても良い	規模別教室ならではの悩みが出ている。 職員体制がある程度の固定化がされていることが、時間を作る事の困難さを作り出している	日別に支援者を分けてカンファレンス時間を確保していく事も想定している。 より良い支援を提供するために教室内SNS等で今よりも密なコミュニケーションをする事を目指していく
3	その他大きな課題は見当たらない		